

△ロスマンゼルス電報 (UP電) 一月二十九日

(ニューヨーク發) 米國は東亞に出来る限りの援助を送りつつあり、ルーズヴェルトが聲明し、又チャーチルが一九四三年になれば聯合國が日本に對し攻撃に轉ずると保證した事により東亞情勢に關し當地では漸く樂觀してゐる。

◎オランダ外相渡米

△ロスマンゼルス電報 (UP電) 一月二十九日

(ロンドン發) オランダ政府情報局はフアン・クレフェンス外相がワシントンに赴くであらうと發表した。クレフェンスは米國に約一ヶ月を滞在する筈で米國並に其他の聯合國營軍と太平洋戦争關係問題につき會談し且此社會を利厚し戦後問題に關する米國意見の趨勢を打診するものと期待される。尚フアン・モック副大統領は既にワシントンにありドイツスフオイン少將參謀總長ターミテレン海軍少將もロンドンよりワシントンに渡つてゐる。

△ロンドン電報 一月二十九日 英語放送

フアン・クレフェンス蘭外相は對日作戰上の重要協力を遂げるため目下ワシントンに向ひつつある。

◎重慶、日本軍の推定兵員を發表

△重慶電報 一月二十八日 英語放送

軍當局者は火曜日の記者會談で次の如く語つた。

「支那に於ける日本軍の推定兵力は三十六ヶ師口、六十萬人とされてゐた。太平洋戰勃發のため五乃至六ヶ師口を撤退し、現在の陸兵員数は地域的に左の通りである。即ち、

中支……………十一ヶ師口

北支……………十八ヶ師口

南支……………七ヶ師口

併し乍ら太平洋開戦以來、現在これら師口の大部分は若本兵員で作戰を遂行してゐる。日本軍の戰時師口は三旅口即ち五乃至七萬を以て編成される點から考へて西南太平洋に十六ヶ師口、比島戰區に五ヶ師口、マレー半島に六ヶ師口半位、蘭印四ヶ師口、最近占領したグワム、ウェーキ島に一ヶ師口の日本軍があると推定されてゐる。

一月二十四日の情報によると、百臺以上の飛行機が海南島に揚陸され、十二日には百機以上の日本空軍が西貢から何處へか飛び去つたが、その後直ちにその半數が再び西貢に向つて來た。この渡陸した飛行機が何處かの基地に配置されたか或は聯合軍の猛攻撃に墜落さ

れたかは不明である。

◎新式潜水艦活躍

△ニューヨーク電 一月二十八日 英語放送

若しヘルリン放送が信じ得るならばドイツは新式潜水艦を使用してゐる様である。即ち、  
ORBが放送してゐる所によると、大西洋のアメリカ沿岸で活躍してゐる潜水艦は二萬哩  
の航続力を有する云ふ。従来潜水艦の最大航続距離は一萬二千哩程度であると言われて  
た。

◎家畜を海岸地方より移動

△オーストラリア電 一月二十八日 英語放送

(シドニー發) 日本軍政隊の都合に備へて東及び北海岸地方よりの家畜移動を調査中であ  
るが同調査委員会はケムプシー、マククリー河流域に就いて研究中である。これら家畜局と  
して百萬袋の小麥が南海岸地方に貯蔵されてゐる。

◎ソ聯、敗勢をより返す

△サンフランシスコ電 一月二十八日 英語放送

ソ聯のレッド・スター紙は本日「ソ聯軍は南方各戦線に於て目下戦果を擴大しつつあり、  
既に是迄に四十六ヶ所の地點を獨軍より奪還してをり、某地點に於てはソ聯軍は六時間も  
積雪の中に隠れ獨軍に不意打を喰はして六百人の戦死者を出さしめてゐる」と報道して  
ゐる。